

令和元年度事業報告

山口県における中核的な民間国際交流組織として、本県の国際化の現状や課題を踏まえ、今後の活動の方向性を示した「山口県国際交流協会中期活動プラン」（令和元年度から5か年間）に基づき、厳しい財政状況の中、関係機関・団体等との連携の下、国際活動の一層の活発化に加えて、多文化共生の地域づくりに重点的に事業を展開するとともに、継続事業についても効率的な実施に取り組んだ。

令和元年度事業の実施状況は、次のとおりである。

1 協会運営事業

協会の運営基盤の強化を図るため、協会事業のPR及び賛助会員・事業用寄付金の募集を行った。

(1) 国際交流基金の造成

- 県・市町出捐金 平成11年度から休止
- 民間出捐金 実績なし

(2) 協会事業のPR及び賛助会員・事業用寄付金の募集

ア パンフレットの配布等による協会事業のPR

- 県観光スポーツ文化部合同会議 (4月4日 県庁)
- 多文化共生国際カフェ (カンボジア) (4月13日 山口市)
- 山口市ボランティア連絡協議会総会 (4月15日 山口市)
- 多国籍料理講座 (フィリピン) (4月20日 山口市)
- 山口市国際化推進懇話会 (4月25日 山口市)
- 県被害者支援連絡協議会相談窓口研修会 (4月26日 山口市)
- 国連山口県本部総会・講演会 (5月25日 山口市)
- 宇部西ロータリークラブ卓話 (6月4日 宇部市)
- 山口県文化連盟総会・文化交流会 (6月6日 山口市)
- 山口県総合防災訓練 (6月9日 岩国市)
- 佐波川総合水防演習 (6月14日 山口市)
- 多文化共生市町担当者会議 (6月11日 山口市)
- 県被害者支援員養成講座 (6月12日 山口市)
- 県被害者支援連絡協議会総会 (6月13日 山口市)
- 山口EU協会総会・交流会 (6月14日 山口市)
- やさしい日本語講座 (6月15日 長門市)
- 山口市ホストファミリー受入説明会 (6月22日 山口市)
- 山口県庁各部署課への賛助会員募集依頼 (7月2日 山口市)
- 日本語ボランティア講座 (7月27日 美祿市)
- 外国にルーツを持つ子どもの支援講座 (8月27日 山口市)
- インターンシップ受入 (8月27日 山口市)
- 外国人のための日本語講座連絡会議 (8月28日 山口市)
- 外国人住民エンパワメント講座 (9月14日 山陽小野田市)
- コミュニティ通訳ボランティア講座 (9月28日 山口市)
- やまぐち外国人相談支援ネットワーク会議 (10月8日 山口市)
- 災害時外国人サポーター養成講座 (10月12日 山口市)
- 山口市役所職員研修 (10月16日 山口市)

- 国際交流プログラム in 徳地 (10月26日(水)山口市)
- スペイン・フェスタ出展 (11月 3日 山口市)
- 法テラス山口地方協議会 (11月 8日 山口市)
- ドイツ青年団受入ホストファミリー説明会 (11月10日 山口市)
- 市町等配偶者暴力相談担当者研修会 (12月13日 山口市)
- 国連フェスタ (12月15日 山口市)
- 外国人等相談窓口対応研修会 (12月20日 山口市)
- 山口地域留学生交流推進会議意見交換会 (1月27日 山口市)
- 山口県ユニセフ協会理事会 (1月30日 山口市(水))
- 多文化共生フォーラム・展示 (2月 1日 山口市)
- 創立30周年記念式典・交流パーティー (2月 1日 山口市)
- 中国経済連山口地区会員懇談会 (2月 5日 下関市)
- 萩ユネスコ協会文化講演会 (2月 8日 萩市)
- JICA 中国巡回展・記念講演会 (2月22日 山口市)
- 山口ユネスコ協会文化講演会 (2月25日 山口市)
- 災害支援 NPO ネットワーク情報交換会 (3月19日 山口市)

イ 賛助会員

個人：515名(519口) 団体：66団体(131口) 市町：全19市町

賛助会費合計：3,305,000円

(平成30年度 個人554名(558口)、団体65団体(123口)、市町全19市町)

賛助会費合計：3,303,000円)

ウ 事業用寄付金 5件 37,000円

2 情報ネットワークを構築する事業

(1) 情報収集提供事業

国際交流・国際協力・多文化共生に関する各種情報の収集や提供・普及等を行った。

(2) 広報事業

県民に対し協会の役割、協会事業への参加・協力のための情報を提供した。

ア HPの活用促進事業

協会主催イベント及び県内外の国際交流・国際協力・多文化共生に係るイベント情報等の掲載を行った。また、ホームページの多言語化の一環として、SNS (Facebook・Twitter) による情報発信により、利用者の増加を図った。

ホームページ 年間アクセス件数：1,010件/1日平均 (平成30年度 820件/1日平均)

Facebook フォロワー数：1,302人 (平成30年度 1,178人)

Twitter フォロワー数：359人 (平成30年度 345人)

イ 携帯メール配信事業

配信希望者に、イベントなどの各種情報のメール配信を行った。(日本語、英語)

登録者数 38人 (月2回配信)

3 県民の主体的な国際活動を支援しコーディネートする事業

(1) グローバル山口国際活動支援事業費補助金交付事業

民間活動団体の国際交流・協力・多文化共生を推進する事業に助成することにより、県内の国際交流・協力活

動・多文化共生の促進を図った。(交付団体5団体 助成額373千円)

団体名	事業名	助成額(円)	参加者(人)
山口県国際教育研究会	第27回山口県国際教育研究大会	100,000	57
周南国際交流児童クラブ	10周年記念岩国基地ペリー小学校親善訪問公演	61,000	825
グローバルハーツシェアリング山口	もっと気軽に国際交流プロジェクト	12,000	95
一般社団法人長門青年会議所	日韓親善交流事業	100,000	51
フューチャー長門	第9回楊貴妃炎の祭典	100,000	1,050

(2) 国際活動推進事業 (小規模助成金)

県民・民間国際活動団体が主体となり国際理解・国際交流・多文化共生に関する小規模な文化講座等の企画・運営を行うための支援を行った。(交付団体4団体 助成額185千円)

団体名	事業名	助成額(円)	参加者(人)
いわくに国際交流センター通津支部	日米国際交流会	35,000	270
しものせき国際交流ねっと	異文化理解講座 I スリランカ・II ペルー	50,000	76
山口県ブラジル親善協会	山口県ブラジル親善協会45周年記念事業 「ブラジルと山口、新しい世代の交流」交流会、パネル展示会	50,000	122
青年海外協力隊山口県OB会	外国人住民と共生して暮らす実践事例の収集	50,000	87

4 地域社会における多文化共生を推進する事業

(1) 外国人のための日本語講座支援事業

ア 外国人のための日本語講座を支援した。(1期12回×年2回)

受講者：計281名

会場(実施団体)	受講者数(春期)	受講者数(秋期)	計
岩国会場(岩国日本語教室)	11名	23名	34名
周南会場(日本語クラブ周南)	31名	40名	71名
山口会場(日本語クラブ山口)	45名	53名	98名
下関会場(下関地区外国人に日本語を教える会)	33名	26名	59名
萩会場(日本語クラブ萩)	8名	11名	19名

イ 日本語ボランティアスキルアップ研修会

多文化共生啓発事業「外国にルーツを持つ子どもの支援講座」実践編において、外国にルーツを持つ子どもの日本語指導について学ぶ講座を実施した。

(2) 外国人住民トータルサポート事業

ア 日本語ボランティア養成講座開催事業

日本語ボランティア登録に関心のある県民を対象に実施した。

講師：日本語クラブ山口代表 吹屋 葉子 氏

美祢市 7月27日(土)及び8月3日(土) 受講者 延べ55名

岩国市 8月31日(土)及び9月7日(土) 受講者 延べ43名

イ 通訳・翻訳サポータースキルアップ講座開催事業

協会登録の通訳・翻訳サポーターや活動に興味のある方を対象に「コミュニティ通訳ボランティア講座」

を開催し、医療分野におけるコミュニティ通訳ボランティアの基礎的知識とスキルアップと新規登録者の発掘を図った。

講師：公益財団法人兵庫県国際交流協会 スペイン語通訳相談員・社会福祉士、医療通訳研究会 (MEDINT) 代表 村松 紀子 氏

日本医療学園付属東亜看護学院看護専任教員、認定医療通訳士 デイビス 千春 氏

山口県国際交流協会 通訳・翻訳サポーター (ベトナム語) ター・タン・フェン 氏

通訳サポート：県国際交流員 ヘマ・ガルベス 氏 (英語)、楊蕊 氏 (中国語)

9月28日 (土) 国際交流協会交流ラウンジ 参加者：27名

ウ 医療サポート事業

外国人住民、医療・保健機関からの依頼に対して、通訳を派遣した。

英語：2件

エ 留学生ホームビジット交流事業

県内大学や市町等が実施する同事業について、協会登録のホストファミリーを紹介した。

登録数：64家庭 紹介事業件数：4件

オ 多文化共生サポーターの活用

① 日本語ボランティアの活用

日本語学習希望者からの個別の希望内容に応じて、ボランティアの紹介を行った。

登録数：35名 紹介件数：7件

② 語学 (通訳・翻訳) サポーターの紹介

文書等の翻訳、国際交流イベント、会議、レセプション、法律相談、外国人住民の生活サポート等における通訳・翻訳者の紹介を行った。

登録者数：133名 紹介件数：24件 (延べ47名)

カ 多文化共生啓発事業

① 山口県国際交流協会創立30周年記念「多文化共生フォーラム」

多文化共生のまちづくりをテーマとしたフォーラムを開催し、基調講演及び在住外国人によるパネルディスカッションを通して、県民の多文化共生の意識を高め、県内の多文化共生の取り組みの促進を図った。

日時：2月1日 (土) ホテルニュータナカ 参加者：156名

○ 基調講演「多文化共生で拓く地域の未来～外国人住民とともに持続可能な社会をつくろう～」

講師：田村 太郎 氏 (一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表理事)

○ 外国人住民によるパネルディスカッション「なぜ外国人が活躍すると地域が元気になるのか」

コーディネーター：田村 太郎 氏 (一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表理事)

パネリスト：ウィルソン エイミー 氏 (山口県立大学国際文化学部 教授) 米国出身

フィリチャギナ リーリヤ 氏 (長門市地域おこし協力隊) ロシア出身

ムルヤディ ヌグラハ 氏 (山口幸楽苑 介護福祉士) インドネシア出身

② やさしい日本語講座

外国人に伝わりやすい「やさしい日本語」について、講演及びワークショップを通して学ぶ講座を実施した。

(1) 日時：6月15日 (土) 13:00～16:00 参加者：27名

講師：公益財団法人兵庫県国際交流協会 スペイン語通訳相談員・社会福祉士 村松 紀子 氏
長門市物産観光センター 会議室

(2) 日時・6月29日(土) 13:00～16:00 参加者：31名
講師：公益財団法人箕面市国際交流協会 総務課長 岩城 あすか 氏
防府市文化福祉会館 大会議室

③ 外国にルーツを持つ子どもの支援講座

外国にルーツを持つ子どもの支援と日本語指導をテーマとした講座を実施し、多文化共生の意識の啓発を図った。

(1) 基礎編

日時：8月27日(火) 10:00～16:00 参加者：65名

- 山口県の外国人住民の現状・山口県国際交流協会の取組
- だれもが安心の中で育まれる社会へ～外国にルーツを持つ子どもと、ともに～
講師：NPO 法人エスペランサ 理事 堀西 雅亮 氏
- 下関市の外国にルーツを持つ児童・生徒の現状と取組
講師：梅光学院大学 非常勤講師 當房 詠子 氏
- 外国にルーツを持つ子どもたちへの関り方～日本語指導を通して～
講師：一般社団法人 HOPE プロジェクト 代表 二口 とみゑ 氏

(2) 実践編「子どもたちへの日本語指導～何から教える？どう教える？」

※日本語ボランティアスキルアップ研修会として開催した

日時：8月28日(水) 13:00～16:00(水) 参加者：51名

講師：一般社団法人 HOPE プロジェクト 代表 二口 とみゑ 氏

キ 外国人住民エンパワメント事業

外国人住民を対象に「冠婚葬祭マナー」について学ぶ講座を開催した。

講師：小野田日本語教室講師会 代表 芝崎 理恵 氏

9月14日(土) 厚狭公民館(山陽小野田市) 参加者：28名

(3) 大規模災害時における外国人支援研修事業

① 災害時外国人サポーター養成講座

災害時に外国人を支援するボランティアを養成する講座を開催した。

講師：NPO 法人多文化共生マネージャー全国協議会 代表理事 土井 佳彦 氏

災害時外国人サポーター登録者数：17名

開催日	参加者数	場所	主催・共催
【基礎編】 10月12日(土) 13:00～16:00	37名	山口市小郡ふれあいセンター	主催：県・協会 共催：山口市
【実践編】 10月19日(土) 10:00～16:00	32名	宇部市総合福祉会館	主催：県・協会 共催：宇部市

【実践編】 11月9日（土） 10:00～16:00	24名	周南市役所	主催：県・協会 共催：周南市
----------------------------------	-----	-------	-------------------

② 外国人住民のための防災教室

令和2年3月7日（土）に 山口市で開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止した。

③ 災害時外国人支援担当者会議

県内における災害時の外国人支援に係る取組の充実と自治体間の連携強化を目的として、県と共催で自治体職員を対象とした会議を開催した。

日時：12月19日（木）14:30～17:00

場所：県庁県政資料館2階 第1会議室

講師：公益財団法人仙台観光国際協会 仙台多文化共生センター センター長 菊池 哲佳 氏

参加者：25名（県・市町国際担当課、市町防災担当課、協会）

5 国際理解・国際協力を推進する事業

(1) 外国文化講座等開催事業

在住外国人や元青年海外協力隊員を講師に多国籍料理講座を実施し、外国への理解を促進するとともに、国際活動の推進を図った。

タイトル	講師	開催日・場所	人数
多国籍料理講座（全3回） ①フィリピン料理 ②セネガル料理 ③ドイツ料理	①Japinoy Community in Yamaguchi 香西・コーラズン 氏 ②元青年海外協力隊 伊藤由加里 氏 ③ドイツハウスパレット代表 アンゲリカ ワタナベ 氏	4月20日、5月11日 、5月25日 いずれも土曜日 山口市	31名

(2) タブカフェ（多文化共生国際カフェ）事業

在住外国人等を講師に外国の文化、習慣、食事等について幅広く学ぶ講座を県内各地で開催し、国際交流・国際理解・国際協力の基盤の拡大を図った。

タイトル	講師	開催日・場所	人数
神々が宿る魅力的なカンボジア 滞在記	神田 睦美 氏 (元青年海外協力隊)	4月13日（土） 山口市	30名
空に届く山の国キルギス	アブサマツ ウウル バイスタン 氏 (徳山ビジネス専門学校)	7月13日（土） 山口市	29名
世界のクリスマスはどんな様子？	ヘマ・ガルベス 氏（県国際交流員・ スペイン）、エマ ヒロ 氏（萩市国 際交流員・英国）	12月14日（土） 萩市	29名

(3) 青少年交流事業

① 山東省青少年代表団の受入れ等

今回は山東省側の諸事情により、実施しなかった。

② 国際交流プログラム in 徳地

外国人留学生、在住外国人と県内高校生との宿泊交流会（1泊2日）を実施した。

期 間：10月26日（土）～27日（日）

場 所：国立山口徳地青少年自然の家、重源の郷

参 加 者：外国人 15名（10ヶ国・地域：インド、インドネシア、タイ、台湾、中国、パラグアイ、ブラジル、ペルー、メキシコ、モンゴル）

高校生 20名（光・防府・長門・萩・山口・山陽小野田・下関）

内 容：TAP（徳地アドベンチャープログラム）、国際理解ワークショップ、天体観測、重源の郷の散策、そば打ち体験

(4) 国際理解教材整備貸出事業

地球市民教材・民族衣装の紹介、貸出しを行うことにより、県民の国際理解の促進を図った。

民族衣装 22件（168着）、世界の楽器 2件、国旗・卓上旗 5件（24枚）

6 受託事業（山口県から受託）

(1) 海外技術研修員等受託事業

在外山口県人の子弟等を受け入れ、県内の研修先において、出身国の社会・経済の発展に貢献する人材の育成を図った。

海外技術研修員 6名（ブラジル3名、ペルー2名、メキシコ1名）

受入期間：令和元年7月30日～令和2年2月7日

(2) 外国人多言語相談窓口設置受託事業（やまぐち外国人総合相談センター）

多言語により外国人住民等からの相談を受け付け、情報提供や関係機関への取次ぎ等を行うことを目的とした「やまぐち外国人総合相談センター」の開設に向けた備品等の整備及びセンターの運営を行った。

(1) 開設

「やまぐち外国人総合相談センター」の開所式を開催した。

6月11日（火） 水の上庁舎

参加者：県知事、県議会副議長、広島出入国在留管理局長、国際交流協会専務理事、一般県民

(2) 運営

① 相談体制：多文化共生コーディネーター 2名

多言語相談員 4カ国語（中国語、タガログ語、英語、ベトナム語）

※その他の言語については、翻訳機及び通訳・翻訳サポーターの活用を行った

② 相談方法：電話（3者通話機能付き）、FAX又は来所相談

③ 相談件数：783件（外国人315件、日本人455件、その他不明13件）

（英語76件、中国語50件、タガログ語93件、ベトナム語12件、

インドネシア語1件、日本語：551件）

うち無料専門相談会件数 弁護士2件、行政書士4件 ※予約制により毎月第3金曜日実施

(3) 会議・研修会開催

①令和元年度やまぐち外国人相談支援ネットワーク会議

外国人住民等からの相談に対して適切な情報提供や専門機関への迅速な取次が行えるよう、県内関係機関相互の支援ネットワークの構築・強化を図ることを目的として開催した。

10月8日（火） 山口県庁 共用第5会議室 参加者：31 機関 42 名

②外国人等相談窓口対応研修会

外国人住民等からの相談を適切な支援につなげることを目的として、外国人住民対応の基礎について各団体窓口担当者向けに研修を行った。

講師：出入国在留管理庁 広島出入国在留管理局下関出張所 統括審査官 吉田 晴夫 氏

公益財団法人仙台観光国際協会 仙台多文化共生センター センター長 菊池 哲佳 氏

12月20日（金） 山口県総合保健会館 第1研修室 参加者：75 名

(4)その他

コーディネーター及び多言語相談員のスキルアップのため、先進地視察や他団体研修会の参加等を行った。

7 その他

(1) 山口県国際交流協会創立 30 周年記念行事

令和2年1月25日に設立30周年を迎えたことを記念して、式典及び交流パーティーを開催するとともに、記念誌の発行、ビデオ「協会30年のあゆみ」を制作した。

実施日・場所：令和2年2月1日（土） ホテルニュータナカ

参加者：160名（来賓、国際活動団体、外国人住民、協会役員、評議員、国際交流専門委員等）

内 容：

a 記念式典

- DVD 上映「山口県国際交流協会 30 年のあゆみ」
- 吉村理事長挨拶
- 来賓祝辞（村岡副政山口県知事、藤生通陽山口県議会副議長）
- 功労者への感謝状贈呈

b 交流パーティー

- 吉村理事長挨拶
- アトラクション（インドネシア・バリ舞踊、西アフリカ・ギニア共和国のジェンベ演奏、14カ国25名による「ふるさと」合唱）
- 万歳三唱

c 山口県国際交流協会創立 30 周年記念誌の発行

A4版フルカラー 32頁 700部

(2) 防災訓練への参加

災害時における外国人支援に関する展示を中心に、防災グッズの紹介や外国人に情報伝達する手段として有効な「やさしい日本語」のクイズを行った。

a 佐波川総合水防演習

開催日：5月25日（土）

場 所：防府市古祖原地先 佐波川左岸河川敷

b 山口県総合防災訓練

開催日：6月9日（日）

場所：いわくに総合防災センター

(3) インターンシップの受入

a 山口県インターンシップ推進協議会からの受入

実施日：各3日間（8月27日～29日 3名、9月12日～14日 4名）

人数：計7名（うち留学生2名）

参加大学等：山口大学1名、山口県立大学3名、徳山大学1名、至誠館大学1名、広島大学1名

b 山口県観光スポーツ文化部からの受入

実施日：1日のみ（9月11日 12名）

人数：12名

参加大学等：山口大学8名、山口県立大学2名、愛知県立大大学1名、立命館大学1名

(4) 市町担当者会議

a 多文化共生市町担当者会議（県主催）

実施日・場所：令和元年6月11日（火） 県政資料館第1会議室

参加者：26名（広島出入国在留管理局、市町、県、協会）

内容：県内外国人住民の状況

県の取組

山口県国際交流協会の取組・県内外国人の相談事例

在留資格「特定技能」について

b 多文化共生地域会議（総務省・県共催）

実施日・場所：令和元年10月25日（金） 県庁共用第2会議室

参加者：33名（総務省、文化庁、広島・名古屋・福岡出入国在留管理局、市町、県、協会）

内容：基調講演「多文化共生の基本的な考え方」 京都大学 教授 竹沢 泰子 氏

総務省における多文化共生施策の取組・優良事例について

県の現状と多文化共生に向けた取組について

文化庁における日本語教育環境の整備について

山陽小野田市における国際交流協会の取組

附属明細書について

令和元年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しないので、附属明細書は作成していない。